



2023年特に事故もなく無事に運営できたことに大感謝 🙏



2024年明けましておめでとうございます。昨年は新規に施設開設し、地域の方々からたくさんのおもちゃや絵本、衣服の寄付をいただき本当にありがとうございました。皆さまのおかげで大きな事故もなく無事に施設運営できたことを心よりお礼申し上げます。本年も何より患児の安全を第一に、地域で働く皆さまのために少しでもお力になれるようにスタッフ一同邁進して参ります。引き続きのご支援、ご指導のほど宜しくお願いいたします 🙏

今年は制限もなく年末年始に親族で集まれた方も多いのではないでしょうか？感染症としては、引き続き①インフルエンザ、②アデノ、③溶連菌が3大流行しており、徐々にB型インフルエンザが増えたり、ウィルス性胃腸炎が増えたりというわずかな変化は見られており、全体にインフルエンザ感染は減少傾向にはあります。変わらず感染対策しながら冬を超えていきましょう。



保育室の壁には中目黒の街がファンシーに描かれ、病気のお子さんが少しでも楽しい気分になるように想いがこめられています！

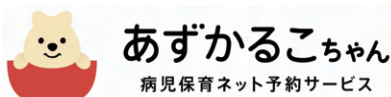
12月のキッズトリビア 子どもの味方「解熱剤＝アセトアミノフェン」について復習です！

子どものかぜで一番使うお薬は解熱鎮痛剤ではないでしょうか。大人で使われるNSAIDS（ロキソニンやイブ）は、ウィルスとの相性が悪いことがあり（ライ症候群）、アセトアミノフェンが最も安全です。一般的な1回の投与量は（体重×10~15）mgと覚えておくと分かりやすいです。体重20kg=200-300mgという感じで大人子ども共通。処方薬だとカロナール、アンヒバ、アルピニー、コカールなど、市販薬だと小児用バファリン、ムヒのこども解熱鎮痛顆粒などがそれに当たります。効果は使用から1-2時間とゆっくり現れ、5-6時間して消失します。解熱効果は1-2.5℃くらいです。よく質問を受けますが、右の表のように発熱やかぜ症状を長引かせるというデータはなく、各種症状が緩和して負担は一時的に楽になるので、うまく使ってあげるのが良いでしょう。なお、坐薬の場合には肝臓代謝を通過しないので効果は速く、効力はほぼ同等です。内服が難しい時には坐薬も選択肢になりますね！

	アセトアミノフェン	プラセボ
発熱期間(平均)	34.5時間	36.6時間
その他の症状の期間(平均)	73.6時間	72.4時間
改善を実感した割合(%)		
活気	38%	11%
意識	33%	12%
機嫌	25%	15%
不快感	23%	24%
食事	19%	12%
水分	23%	30%

Kramer, et al.(1991)¹⁰より引用

小児のかぜの薬のエビデンス 大久保祐輔 (Dr.KID) 著



目黒区は先進的に病後児保育施設の予約システムのICT化を決定しました。当施設では先んじて病児保育専用ネット予約サービス『あずかるこちゃん』を導入して、朝の忙しい時間帯に利用の可否の電話をする施設側・保護者側双方の大きなストレスをLINE通知で解消し非常に好評です。まずは事前登録だけでもぜひぜひ、お待ちしております。

ご協力をお願い
 おうちにある、使わなくなったおもちゃや絵本、衣服をぜひロコキッズケアで再利用させてください。
 地域の皆さまと支え合う施設をめざしています。ぜひ皆さまからの寄付をお待ちしています！

利用可能登録者数 316名
 (あずかるこちゃん事前登録数)

12月の利用者数 42人
 (助成対象外利用者を含む)



所在地 東京都目黒区東山1-9-8高橋ビル
 開所時間 月曜日～金曜日 08:00 - 18:00
 電話 03 - 3714 - 6565
 運営機関 ロコクリニック中目黒